

令和6年ハブクラゲ注意報の発令（6/1～9/30まで）

本県の海には、猛毒を持つハブクラゲが生息し、年間100名前後の刺症被害が発生しています。ハブクラゲは一年のうち6月頃から人体へ影響を及ぼす大きさに成長するためマリネレジャーの際には十分注意する必要がありますので、以下の点に注意し、海水浴等やマリネレジャーを楽しみましょう。

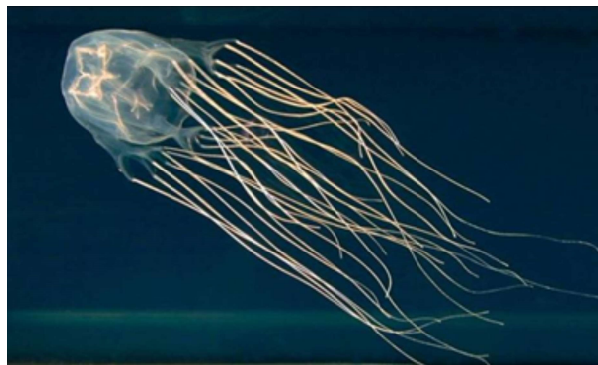
1 ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには、

- (1) 海水浴をする場合は、肌の露出を避け、ハブクラゲネット侵入防止ネット内で遊泳しましょう。
- (2) 海に出かける際は酔（食酔）を持参しましょう。

2 ハブクラゲに刺された場合は、落ち着いて対処し、

- (1) まず海から上がり、激しい動きをしないで近くにいる人を呼びましょう。
- (2) 刺された部分はこすらずに酔（食酔）をたっぷりかけて触手を取り除いた後、氷や冷水で冷やしましょう。
- (3) 応急措置をし、医療機関で治療を受けるようにしましょう。

※ ビーチ管理者は、ハブクラゲ侵入防止ネット内での刺症事故がないように管理の徹底をお願いします。



（沖縄県衛生環境研究所提供）

令和6年与那原地区水難事故防止推進協議会臨時会へ参加

奥武島における水難事故防止 ～ 児童・生徒の水難事故防止の強化

5月17日（金）午後4時20分頃、南城市玉城在、奥武島の海岸で遊泳中の中学生が溺れて意識不明の重体となった水難事故を受け、5月24日（金）に与那原町・南城市及び南風原町の関係者が集まり、今後の水難事故防止策を協議しました。

会議では、中城海上保安部から、今回の事故の概要が説明され、昨年も同様な事故が発生していることや橋の欄干や堤防等からの飛び込みによる事故である説明がなされ、その後、関係機関による協議の結果、

- 1 警察、海保及び関係機関のパトロール強化と遊泳者に対する声かけの実施
- 2 遊泳禁止等の看板設置やビーチ近くの店舗にAEDを配備する
- 3 海浜や防波堤に救命浮かんを常備する

等が提案され、各関係者が連携して実施、整備していくこととなった。

※ OMS Bも水難事故を1件でも減らすために一所懸命頑張ります。



ちゅら海の安全・安心つくるゆいまーるの輪OMS B賛助会員募集中

※ 詳しくは、左のQRコードからOMS Bホームページ上で確認できます。